

平成30年全国交通安全運動と墨田区の交通事故防止の取組みについて

1 平成30年春の全国交通安全運動(4月6日(金)～15日(日)までの10日間)

運動の重点

- (1)子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- (2)自転車の安全利用の推進
- (3)全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- (4)飲酒運転の根絶
- (5)二輪車の交通事故防止

2 平成30年秋の全国交通安全運動は9月21日(金)～30日(日)までの10日間の予定

3 墨田区の交通事故防止の取組み

(1)放置自転車クリーンキャンペーン

- ・29年10月末に実施した都内の放置自転車等台数調査において、錦糸町駅周辺の放置自転車等の台数は214台という結果でした。782台で都内ワースト1位になった25年度と比較すると大幅に減少しましたが、未だ放置自転車が見受けられます。引き続き利用マナーの啓発をクリーンキャンペーンを通じて行います。

放置自転車クリーンキャンペーンの様子
(29年12月錦糸町駅前にて)

[放置自転車等の台数調査結果]

調査年月日	自転車	原付	自二	計	都内ワースト順位
25年10月17日(木)	737台	32台	13台	782台	1位
26年10月28日(火)	486台	85台	26台	597台	4位
27年10月30日(金)	449台	69台	26台	544台	4位
28年10月26日(水)	360台	48台	29台	437台	3位
29年10月27日(金)	167台	39台	8台	214台	30位
28 - 29年度	193台減	9台減	21台減	223台減	

[今後の実施予定]

- ・10月下旬 錦糸町駅周辺と東向島駅周辺(東京都の第35回駅前放置自転車クリーンキャンペーンの一環)
- ・12月下旬 錦糸町駅周辺と曳舟駅周辺(区主催のクリーンキャンペーンに併せて実施)

(2)錦糸町駅周辺放置自転車対策

- ・放置自転車が多い錦糸町駅周辺は、平成29年4月からほぼ毎日、警告・撤去を行っています。また、店先に放置自転車が多い店舗においては、自転車の利用マナーの啓発活動を行い、放置自転車解消に努めています。

(3)スタントマンを使ったスケアード・ストレート方式の交通安全教室

- ・今年度は、12月に都立両国高校で実施する予定です。
スケアード・ストレートとは、事故現場を再現し、事故の恐怖を実感することで、それにつながる危険行為を未然に防ぐ教育手法です。

スケアード・ストレートの様子
(29年12月都立日本橋高校にて)

(4)その他の啓発活動

- ・10月6日(土)、7日(日)に錦糸公園で開催する「すみだまつり・こどもまつり」において、自転車の利用マナーの啓発活動を行います。

啓発活動の様子
(29年10月すみだまつり・こどもまつりにて)

4 機械式地下自転車駐車場の整備(錦糸町駅南口)

(1) 目的

錦糸町駅周辺に新たな自転車駐車場を整備することで、放置自転車を減少させ、誰もが安全で快適に移動できる歩行空間を確保する。

(2) 新たな自転車駐車場の整備

地下に設置された円筒型ラック式の自転車駐車場に、車両情報を記録したICチップ搭載の自転車を、地上部の入出庫ブースから自動的に入出庫できるシステムを備えた機械式地下自転車駐車場を整備する。

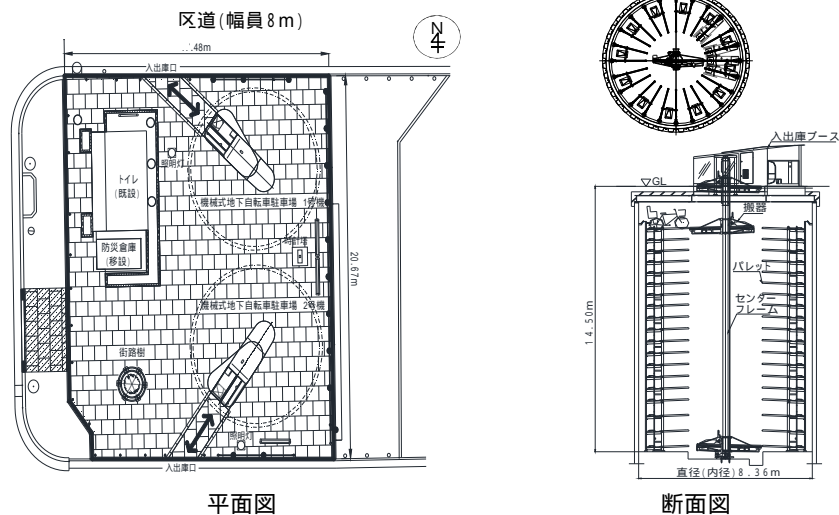
(3) 整備概要

整備場所	錦糸町駅南口区画街路2号線脇広場 JR錦糸町駅、東京メトロ錦糸町駅から約200m
整備面積	約360㎡(20.67m×17.48m)
施設構造	円筒型地下式(直径8.36m、深さ14.5m)×2基
台数	456台(228台×2基) うち大型自転車対応72台(36台×2基)
入出庫時間	平均17秒/台
運用開始	平成31年4月1日(予定)

(4) 案内図



(5) 平面図・断面図



(6) イメージパース図

